

マルチメディア放送システム方式の技術的な要求条件（案）

1 システム

項目	要求条件
サービスの高機能化／ 多様化	①「映像・音響・データ」、「リアルタイム・ダウンロード」といったサービスを自由に組み合わせることを可能とすること。 ②多様で柔軟な高機能サービスを可能とすること。
番組選択性	①複数番組を放送する場合の容易な番組選択性を確保するため、これを補佐する情報が伝送可能であること。 ②番組の切替に要する時間はできる限り短いこと。
サービス拡張性	①将来の新たなサービスへの拡張性を有すること。
緊急警報放送等	①非常災害時における対象受信機への起動制御信号及びメッセージの迅速な放送について考慮されていること。
受信の形態	①携帯及び移動受信が可能であること。なお、移動受信とは列車、クルマ、歩行等により地上を移動しながら受信することをいう。
実時間性	①リアルタイム放送の場合、できるだけ遅延時間が短いこと。また、緊急警報放送等の迅速性が重要な場合は、遅延時間を最小化する工夫がなされていること。
インター オペラビリティ	①他メディア等との間で、出来る限り互換性が考慮されていること。
著作権保護	①放送コンテンツの記録及び利用に関して制御できる機能を有すること。
使用周波数	①周波数帯は、90-108MHz帯（V-LOW）及び207.5-222MHz帯（V-HIGH）を使用する。 ②「全国向け放送」については、V-HIGH を、「地方ブロック向け放送」については、V-LOW を使用する。 ③新型コミュニティ放送については、地方ブロック向け放送の空き周波数を使用する。
伝送帯域幅	①割り当てられた周波数内での運用が可能なこと
周波数の有効利用	①周波数利用効率が高いこと。 ②サービスエリア内において、基本的には、同一周波数の利用（SFN）によりあまねくカバーを達成する置局が技術的に可能となる方式であること。

3. 技術方式

伝送路 符号化 方式	搬送波	①混信及び都市雑音による受信障害に強いこと。 ②他のサービスに干渉妨害を与えずかつ他サービスから干渉妨害に強いこと。
	変調方式・誤り訂正方式	①フェージング、マルチパス、フラッタに強い伝送方式であること。 ②安定な移動受信が可能であること。 ③同一エリアを1送信機でカバーするに当たり、できるだけ少ない送信電力でサービスエリアをカバーすることも可能であること。
	伝送容量	①周波数有効利用、隣接チャンネルへの妨害などを考慮した上で、できるだけ高い伝送ビットレートを確保できること。
多重化方式		①複数番組やデータ等の多様なサービスの提供、自在な編成、広範囲な伝送レートの設定等柔軟性があること。 ②新しいサービスの導入等の拡張性があること。 ③番組選択の容易性と受信形態に適応する操作性があること。
映像入力フォーマット および符号化方式		①国際標準に一致または準拠した方式を用いること。 ②将来の拡張性を考慮した符号化方式であること。
音声入力フォーマット および符号化方式		①国際標準に一致または準拠した方式を用いること。 ②将来の拡張性を考慮した符号化方式であること。
データ符号化方式		①多様なデータサービスに柔軟に対応する符号化方式であること。
アクセス制御方式		①十分に秘匿性を保ち、不正アクセスに対して十分な技術的対策がとられていること。 ②視聴者に対して利用条件/方法を提示でき、視聴者が扱いやすい方法であること。

4 放送品質

画質	①サービスに応じて画像のビットレートを変化できること。
音質	①サービスに応じて音声ビットレートを変化できること。
伝送品質	①サービス内容に応じ、情報ビットレートや誤り訂正能力等の伝送パラメータの変更がスムーズにできること。

5 受信機への対応

受信機への対応	①簡単な操作を支援するための制御信号等が備わっていること。 ②可能な限り、高齢者、障害者などに配慮した操作性を有すること。 ③受信機の低廉化が図られる技術的工夫がなされていること ④受信機の省電力化に寄与できる技術的工夫がなされていること。
---------	---